

1. 横浜市環境保全基金の残高等

		金額 (単位:円)	備考
①	基金総額 (前年度末基金残高)	615,679,541	
	内訳	うち、国費相当額	200,000,000
		うち、地方負担相当額	415,679,541
		うち、負担附寄附金等	0
②	基金運用益	202,493	
③	その他収入	4,412,006	
④	負担附寄附金等	0	
⑤	返納額	0	
⑥	基金執行額 (処分額)	6,343,536	内訳は下表のとおり
⑦	基金残高	613,950,504	(=①+②+③+④-⑤-⑥)
	内訳	うち、国費相当額	200,000,000
		うち、地方負担相当額	413,950,504
		うち、負担附寄附金等	0

2. 保有割合

	次年度の基金類型	取崩型	金額 (単位:円)	備考
⑧	基金残高		613,950,504	
⑨	事業費 (次年度から終了年度までの見込額)		621,427,483	
⑩	保有割合		0.988	= (⑧/⑨)

保有割合の算定根拠
 運用型: 運用益見込額 ÷ 事業費 (次年度見込額)
 取崩型: 基金残高 ÷ 事業費 (次年度から終了年度までの見込額)

3. 事業一覧

番号	事業名	事業費			備考	達成度	事業費 (次年度)	事業費 (終了まで)
		合計	一般財源等	基金充当額				
1	企画事業	16,709,464	16,486,714	222,750		—	0	222,750
2	生物多様性横浜行動計画推進事業	1,811,765	154,000	1,657,765		53%	1,146,000	15,781,000
3	横浜型エコスタイル推進事業	1,223,288	0	1,223,288		53%	1,296,000	16,366,000
4	繁殖センター管理運営費	49,745,131	46,505,398	3,239,733		—	0	3,239,733
5	地域環境活動等支援事業	0				—	0	585,818,000
6		0						
7		0						
8		0						
9		0						
10		0						
11		0						
12		0						
13		0						
14		0						
15		0						
合 計		69,489,648	63,146,112	6,343,536			2,442,000	621,427,483

4. 基金事業の目標に対する達成度

成果指標	市民・企業などとの多様な主体との協働により、環境行動や環境教育の幅広い世代への実施、多角的な視点からのプロモーションの展開により、横浜らしいエコライフスタイルの実践と定着を図ります。	
成果実績	環境に関心があり、行動に結びついている人の割合	
目標値	73%	
達成度	53%	

事業番号

平成29年度 事業報告書

事業名	企画事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境広報物作成	開始年度	平成29年度
担当部署	環境創造局政策課	終了年度	平成29年度

1. 目的及び目標（値）

市民・企業などとの多様な主体との協働により、環境行動や環境教育の幅広い世代への実施、多角的な視点からのプロモーションの展開により、横浜らしいエコライフスタイルの実践と定着を図る。

2. 概要

「横浜市環境管理計画」及び「水と緑の基本計画」の推進や、環境創造審議会の運営等を行う。
その中で、横浜市の環境の現状を分かりやすく紹介するパンフレット「横浜の環境こども版」作成費に本基金を充当する。

3. 根拠法令等

横浜市環境の保全及び創造に関する基本条例、都市緑地法、横浜市附属機関設置条例、横浜みどりアップ計画市民推進会議運営要綱、横浜市環境創造審議会条例、横浜市環境創造審議会運営要綱

4. 実施内容等

「横浜の環境こども版」作成

事業番号

平成29年度 事業報告書

事業名	生物多様性横浜行動計画推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	生物多様性横浜行動計画推進事業	開始年度	平成23年度
担当部署	環境創造局政策課	終了年度	平成39年度

1. 目的及び目標（値）

市民・企業などとの多様な主体との協働により、環境行動や環境教育の幅広い世代への実施、多角的な視点からのプロモーションの展開により、横浜らしいエコライフスタイルの実践と定着を図る。

2. 概要

「生物多様性横浜行動計画（ヨコハマbプラン）」の推進に向け、計画の普及啓発や、重点アピールの実現に向けた検討、市民の生物多様性に対する理解促進、市民による生物多様性保全等の取組に対する支援等を行う。

3. 根拠法令等

横浜市環境の保全及び創造に関する基本条例、生物多様性横浜行動計画、横浜市環境教育基本方針、横浜市附属機関設置条例、横浜市環境保全活動団体助成金交付要綱、横浜環境活動賞実施要項

4. 実施内容等

- ・環境教育出前講座（生物多様性でYES！）
ヨコハマ・エコ・スクール（YES）の枠組みを活用し、地域・学校を対象に生物多様性や環境全般について学ぶ場を提供する。
- ・活動支援事業
市民が主体的に行う環境活動を支援するため、活動への事業費助成を行う。また、横浜環境活動賞の表彰及び活動発表・交流会を実施する。
- ・行動計画普及啓発等推進
外来生物に関する基本原則の周知をはじめとした普及啓発等を実施する。

事業番号

平成29年度 事業報告書

事業名	横浜型エコスタイル推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	横浜型エコスタイル推進事業	開始年度	平成28年度
担当部署	環境創造局政策課	終了年度	平成39年度

1. 目的及び目標（値）

市民・企業などとの多様な主体との協働により、環境行動や環境教育の幅広い世代への実施、多角的な視点からのプロモーションの展開により、横浜らしいエコライフスタイルの実践と定着を図る。

2. 概要

地球温暖化対策や生物多様性に関する取組を市民と活動団体、企業と連携しながら、プロモーションする。これにより、市民や企業が省エネや生物多様性保全などの環境保全活動に日常的に取り組む、横浜らしいエコライフスタイルを推進する。

3. 根拠法令等

環境基本法、横浜市地球温暖化対策実行計画、生物多様性横浜行動計画

4. 実施内容等

- ・環境プロモーション
生物多様性をはじめとする横浜市の環境に関する取組をイベントや図書館と連携したパネル展示等でPRする。
- ・こども「エコ活。」大作戦！
小学生にチェックシートを配布し、夏休み中に家庭・地域での環境行動に取組を推進する。また、その取組を支援する協賛企業と連携し、国内外の環境保全活動の支援を行う。

事業番号

平成29年度 事業報告書

事業名	繁殖センター管理運営費	新規・継続区分	継続
事項名	日本産希少動物の保存研究	開始年度	平成29年度
担当部署	環境創造局動物園課	終了年度	平成29年度

1. 目的及び目標（値）

市民・企業などとの多様な主体との協働により、環境行動や環境教育の幅広い世代への実施、多角的な視点からのプロモーションの展開により、横浜らしいエコライフスタイルの実践と定着を図る。

2. 概要

繁殖センターにおいて、国際的に絶滅の危機に瀕する動物や、日本産の希少動物の保全・繁殖に取り組む。市内3動物園での展示による普及効果と並行しながら、一般展示とは隔離した場所で動物にできるだけストレスを与えない落ち着いた環境の確保を図り、繁殖、遺伝子等の調査研究を専門的に行う。その中で、日本産希少動物の保存研究に本基金を充当する。

3. 根拠法令等

4. 実施内容等

希少動物種の保存研究